

原爆パネル展

1945年8月6日に広島、8月9日には長崎に原爆が投下されました。「核兵器の廃絶」、「世界の平和」は人類共通の願いであり、私たちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを新しい世代に伝えていかなければなりません。

ひとりでも多くの方に、戦争の悲惨さ、平和の尊さを再認識していただきたいと考えております。是非、お立ち寄りください。

展示パネル

○原爆の絵

広島市立基町高校の生徒たちが被爆者から聞き取り、描いた絵

「死んだ我が子を背負う若いお母さん」

「私は地獄に迷い込んだんじゃろうか」

「御幸橋より 波に漂う屍」など 20 作品

○16 の問い展

核兵器について考える 16 個の質問

○原爆に関する資料等

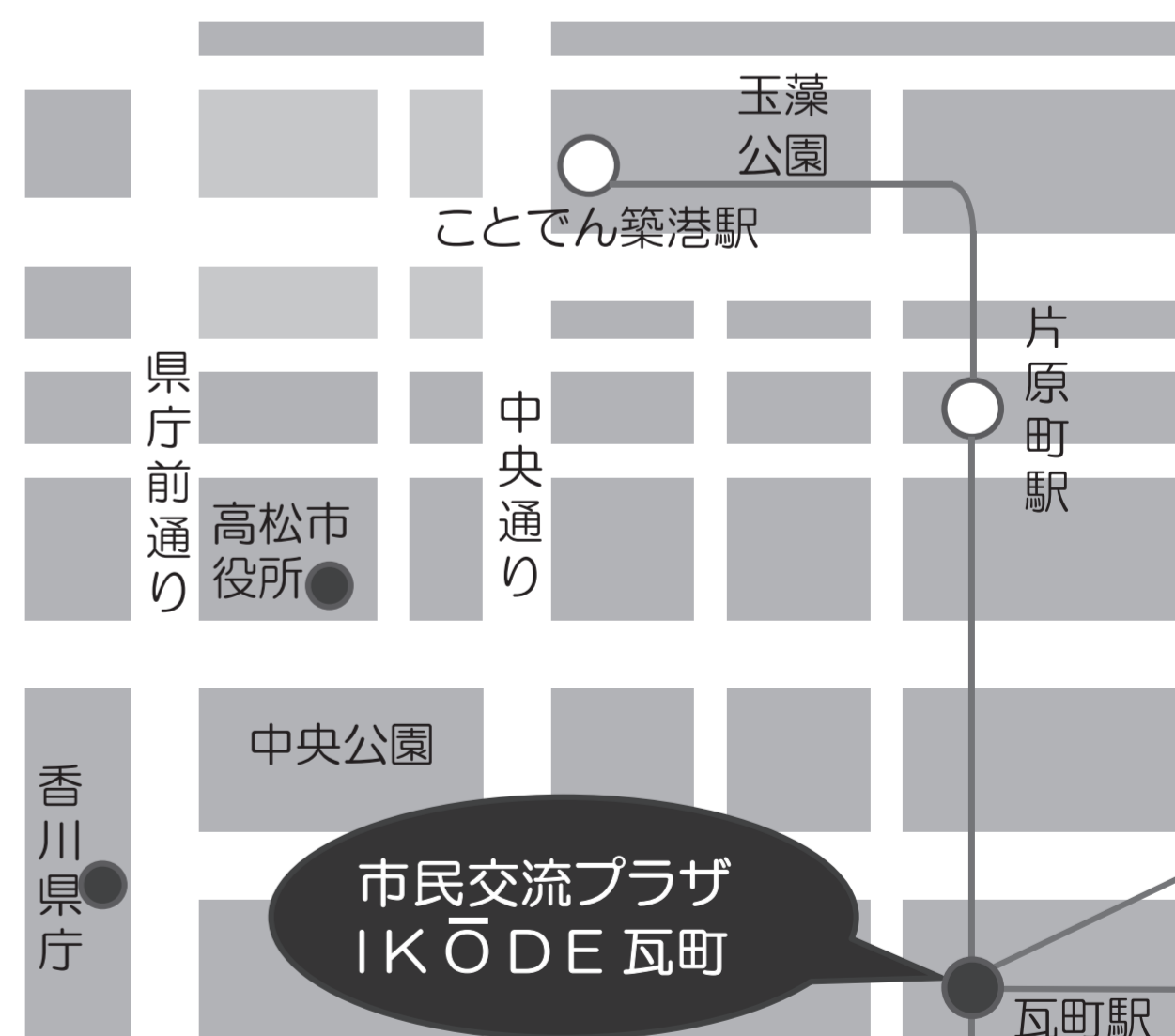
唯一の被爆国の日本だからこそ伝えたい

とき：令和8年 **8月4日（火）**

※ 初日4日は午後1時から

8月10日（月）

※ 最終日10日は午後3時まで
期間中は午前10時～午後5時



ところ：市民交流プラザ IKODE瓦町 展示コーナー（瓦町FLAG8階）

お問い合わせ **高松市平和記念館** TEL (087) 833-2211

〒760-0068 高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ5階

主催／高松市・高松市平和を願う市民団体協議会